

富里市 小学校区別防災カルテ

<概況>

6 日吉台小学校

地区の概況

[地形・地勢]

根木名川沿いを中心に軟弱地盤の低地が広がる。低地上流部は以前は水田として利用されていたが、造成地として開発が進み、現在はそのほとんどが宅地として利用されている。

[交通]

東関東自動車道が校区を南北に走る。

[人口]

人口は8校区のうち2番目に多い。年齢別人口割合をみると年少人口が市全体の割合より低く、生産年齢人口も市全体の割合をやや下回っている。

[建物]

1km²当たりの建物棟数割合は8校区のうち最も高く、市全体の平均の2倍以上である。木造老朽建物割合は52.2%である。

[避難施設]

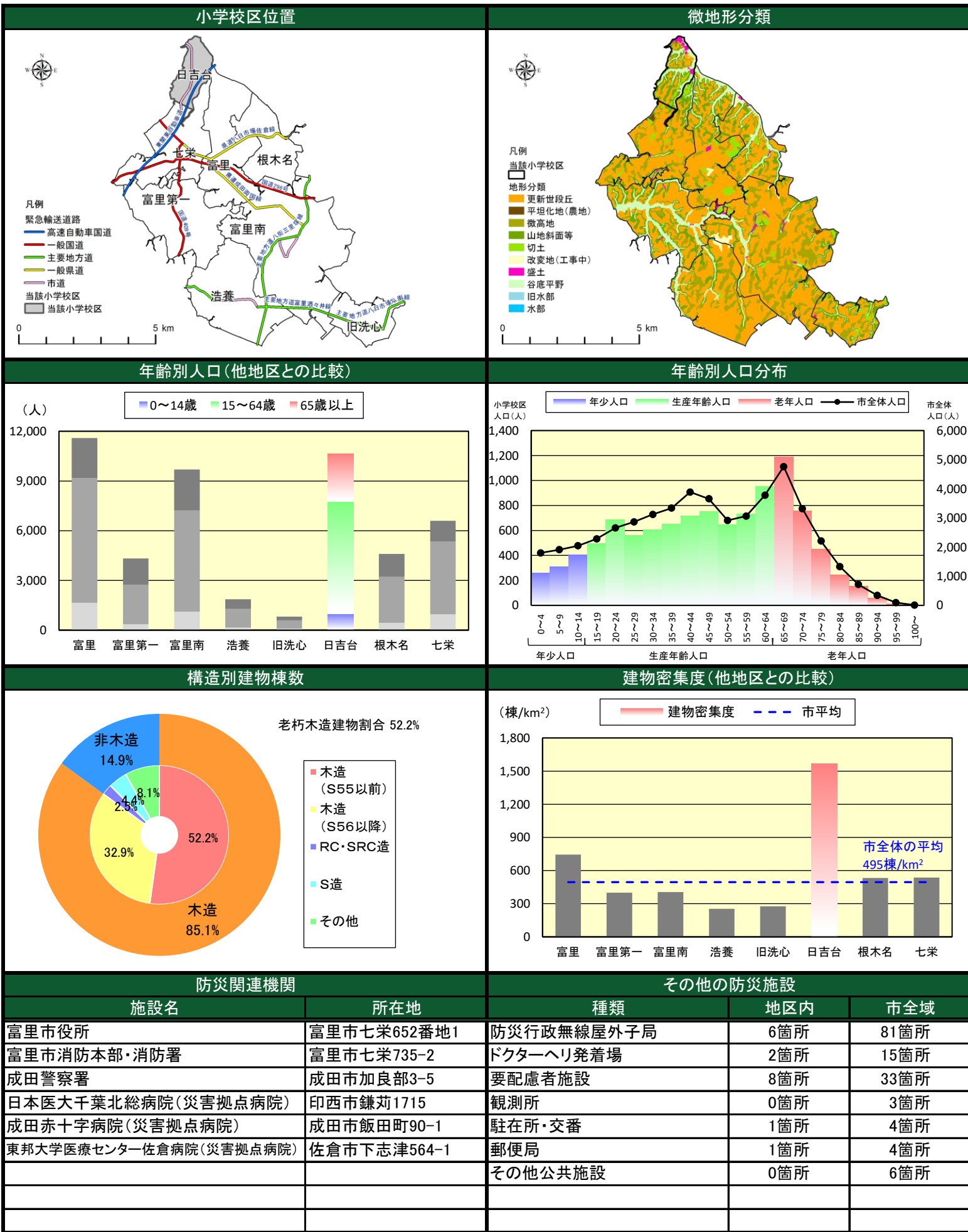
指定緊急避難場所は11箇所、指定避難所は3箇所(収容人数は868人)指定されている。

				小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積				2.30 km ²	53.88 km ²	4.27%	
人口・家屋の分布状況	人口分布状況	人口		10,644 人	50,134 人	21.23%	
		人口密度		4,631.46 人/km ²	930.48 人/km ²	—	
		男女別人口	男	5,339 人	25,584 人	20.87%	
			女	5,305 人	24,550 人	21.61%	
		世帯数		5,013 世帯	22,654 世帯	22.13%	
		0歳以上～14歳		977 人	5,754 人	16.98%	
		15歳以上～64歳		6,796 人	31,569 人	21.53%	
		65歳以上～		2,871 人	12,811 人	22.41%	
		避難行動要支援者		2,210 人	10,851 人	20.37%	
	うち 一次名簿対象者		627 人	3,399 人	18.45%		
	うち 手上げ名簿対象者		1,583 人	7,452 人	21.24%		
	建物分布状況	建物棟数		3,596 棟	26,684 棟	13.48%	
		木造(S55以前)		1,877 棟	11,087 棟	16.93%	
		木造(S56以降)		1,182 棟	10,704 棟	11.04%	
RC・SRC造		90 棟	290 棟	30.88%			
S造		158 棟	1,513 棟	10.43%			
その他		290 棟	3,089 棟	9.37%			
密集度		1,564.71 棟/km ²	495.25 棟/km ²	—			

避難施設	種類			施設名称	収容人数(人)		
	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所
	●	●		日吉台小学校	3,100	289	0
	●	●		富里北中学校	2,498	469	0
		●		富里北部コミュニティセンター	0	110	0
	●			日吉台中央公園	3,775	0	0
	●			日吉台第1公園	971	0	0
	●			日吉台第2公園	492	0	0
	●			日吉台第3公園	491	0	0
	●			日吉台第4公園	1,346	0	0
	●			日吉台第5公園	597	0	0
	●			日吉台第6公園	1,455	0	0
	●			日吉台第7公園	1,397	0	0
	●			日吉台第8公園	672	0	0
	収容人数合計				16,794	868	0

注 一次名簿対象者は、要介護3以上の方、障がい者、外国人等、手上げ名簿対象者は、単身の高齢者、妊産婦等を示す。

避難施設の収容人数は、複数の小学校区にまたがる中学校の収容人数も、全体の値を記載している。



富里市 小学校区別防災カルテ

<結果>

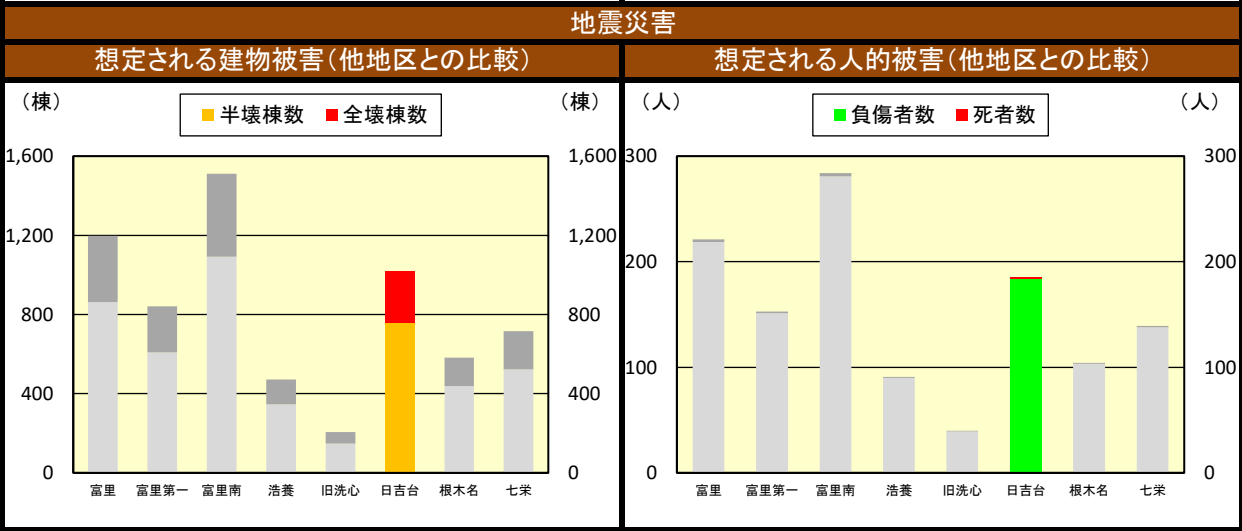
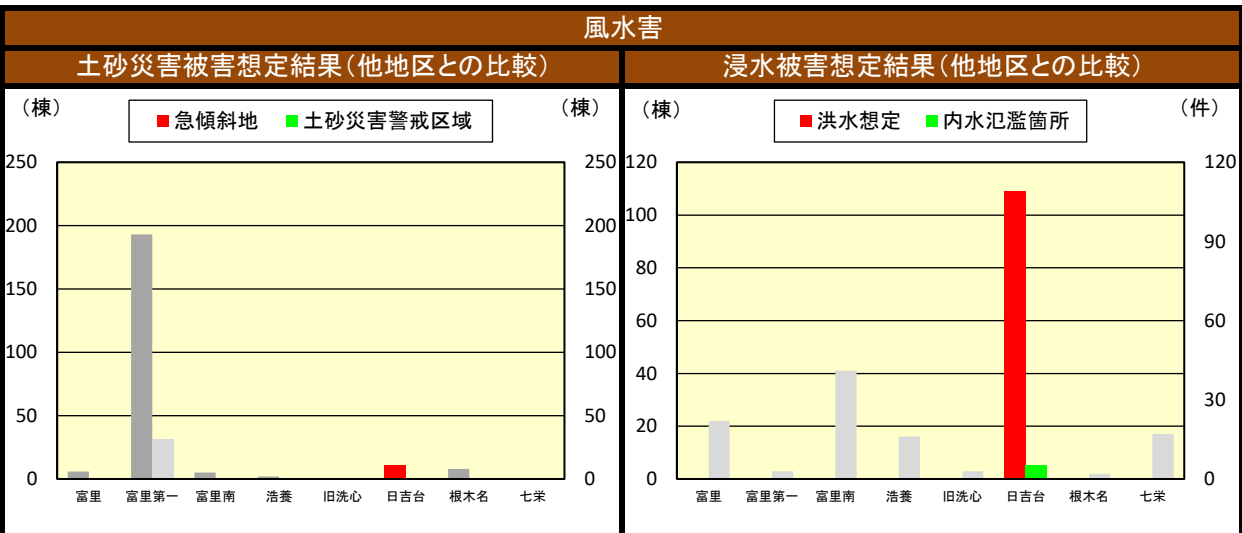
6 日吉台小学校

風水害					
土砂災害 結果被害		箇所数(箇所・地区)	重なる面積(ha)	避難の対象世帯数(世帯)	避難の対象者数(人)
	急傾斜地崩壊危険箇所	2	0.76	21	39
	土砂災害警戒区域	0	0.00	0	0
	うち特別警戒区域	0	0.00	0	0
	山腹崩壊危険地区	0	0.00	0	0
浸水 結果被害 想定	根木名川浸水(洪水)想定区域		内水氾濫箇所		
	小学校区(a)		市全体合計(b)	内水氾濫種類	小学校区(a) 市全体合計(b)
	浸水面積(km ²)		0.11 0.11	床上浸水(棟)	2 15
	浸水する建物数(棟)		109.00 109.00	床下浸水(棟)	3 94
	避難の対象者数(人)		332.49 332.49	道路浸水(箇所)	1 26

地震災害										
地震被害 想定結果		震度階級				液状化危険度				
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
	面積(km ²)	0.00	0.00	2.29	0.01	0.00	1.06	0.00	0.67	0.57
	面積率(%)	0.00	0.00	99.53	0.47	0.00	46.07	0.00	28.94	24.99
	建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)
	木造	全壊	287	1,751	16.39%	死者数	2	11	13.71%	
		半壊	823	4,766	17.27%	負傷者数	175	1,190	14.68%	
	非木造	全壊	5	60	8.08%	重傷者数	26	181	14.31%	
		半壊	43	160	26.92%	避難者数	1,121	4,646	24.12%	
	焼失棟数	1	7	10.34%	避難所避難者数	672	2,788	24.12%		
	上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
	断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
		4,487	25,672	17.48%			369	1,053	35.08%	

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
避難所避難者数、断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果

災害の種類		災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	土砂災害	土砂災害の影響を受ける避難人口率 ※避難対象人数(人)/地区の総人口(人)	0.4	2/8	
	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 ※避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	3.1	1/8	
	浸水(内水氾濫)	建物が内水氾濫の影響を受ける被害率 ※床上床下浸水合計棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.1	6/8	
地震被害	地盤被害	液状化の被害面積率 ※危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	25.0	1/8	
	建物被害	地震による建物被害率 ※全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	8.1	1/8	
	火災被害	火災による建物被害率 ※焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.0	8/8	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 ※死傷者数(人)/地区全体人口(人)	1.7	8/8	
	避難者	地震災害による避難人口率 ※避難所避難者数(人)/地区全体総人口(人)	6.3	2/8	
避難行動要支援者		避難行動要支援者率 ※避難行動要支援者数(一次名簿のみ)(人)/地区全体総人口(人)	5.9	7/8	グラフの見方: 評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、パーセンテージで表したものです。グラフの九角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。



地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●根木名川が氾濫した場合、洪水の影響を受ける。 ●斜面地形が比較的多く、土砂災害の影響は2番目に大きい。 ●内水氾濫による被害は比較的小さい。	風水害	●根木名川の浸水想定区域内の住民に対し、避難体制の整備を図る必要がある。 ●急傾斜地崩壊危険箇所の対策工等の整備が必要である。 ●内水氾濫箇所は、雨水排水機能の強化が必要である。 ●大雨等による風水害に備え、日ごろから避難体制(特に要配慮者への支援)の整備を進める必要がある。
地震被害	●富里市直下の地震が発生した場合、最大震度6強の強い揺れが想定される。 ●根木名川沿いの低地、造成地等では液状化の危険性が高く、液状化の危険性の高い面積は最も大きい。 ●建物の全壊率は最も高い。 ●校区の避難所避難者数は672人に対して指定避難所の収容人数は868人であり収容力は十分である。	地震被害	●液状化のおそれのある地域では、地盤改良等の液状化対策が必要である。 ●昭和56年以前の建物には耐震化や家具の固定等を行う必要がある。 ●木造建物の不燃化として、沿道建物の不燃化等の推進を図る必要がある。 ●日ごろから避難訓練への参加や家庭内備蓄を行う必要がある。

